



第 82 回 全日本自転車競技選手権大会 トラック・レース
兼 UCI トラック・ワールドカップ代表選手選考参考大会
2013 日本パラサイクリング選手権・トラック大会
実施要項



ver.3.41

- 1 主催 公益財団法人 日本自転車競技連盟 一般社団法人 日本パラサイクリング連盟
- 2 共催 公益財団法人 日本障害者スポーツ協会
- 3 主管 一般社団法人 静岡県自転車競技連盟
- 4 協賛 社団法人 全国競輪施行者協議会 公益財団法人 日本自転車競技会 一般社団法人 日本競輪選手会
- 5 後援(予定) 静岡県 静岡県教育委員会 公益財団法人 静岡県体育協会 伊豆市 サイクルメッカ伊豆推進協議会
公益財団法人 JKA 一般財団法人 日本サイクルスポーツセンター
- 6 期 日 2013 年 7 月 27 日 (土) ~ 28 日 (日)
- 7 会 場 伊豆ペロドローム (周長 250m・屋内・木製走路) 静岡県伊豆市大野 1826
- 8 日 程 7 月 26 日 (金) 16:30 ~ 17:30 ライセンス・コントロール、ゼッケン配布
27 日 (土) 9:00 ~ 開会式
9:30 ~ 競技開始
16:30 ~ 17:30 ライセンス・コントロール、ゼッケン配布
28 日 (日) 9:00 ~ 競技
14:30 ~ 閉会式

9 参加資格

- (1) 競技者: 2013 年度 (公財) 日本自転車競技連盟および UCI 加盟国で競技者登録を完了した日本国籍を有する 1995 年以前生れの男女。ただし、パラサイクリング種目には 1996 年生まれの子も参加できる。
パラサイクリング種目に参加する者は、障害者手帳などを所持する日本パラサイクリング連盟が認めた者。
タンデム・パイロットは各競技者に対して 1 名のみとし、各パイロットは 1 名の競技者とのみと参加できる。
- (2) 監督: 団体種目に出場する団体毎 1 名。
2013 年度有効な公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者制度に基づく「公認自転車競技上級コーチ」、「公認自転車競技コーチ」、「公認自転車競技上級指導員」、「公認自転車競技指導員」、または公益財団法人日本自転車競技連盟「公認審判員」「競技者」「チーム・アテンダント」のいずれかの資格を有すること。
日本体育協会公認スポーツ指導者制度に基づく資格を有していることが望ましい。

10 参加制限

- (1) 1 名につき個人種目 2 種目に加え、団体種目は 1 種目まで申込みができる。
- (2) 申込推薦基準

① パラサイクリング以外:

申込み締切日から 1 年前までの下記大会

トラック世界選手権大会および UCI トラック・ワールドカップ
ジュニア・トラック世界選手権大会
アジア選手権大会トラック競技およびアジア・ジュニア選手権大会トラック競技
全日本選手権大会トラック・レース
全日本プロ選手権大会トラック・レース
JOC ジュニアオリンピックカップ
国民体育大会 (成年・少年) トラック・レース
全国都道府県対抗大会 (成年・少年・女子) トラック・レース
全日本実業団選手権トラック・レース
全日本大学対抗選手権トラック・レース
全国高校対抗選手権大会トラック・レース

出場者
出場者
出場者
各種目 8 位 (チーム) まで
各種目 8 位 (チーム) まで
各種目 8 位 (チーム) まで
各種目 8 位 (チーム) まで
各種目 8 位 (チーム) まで
各種目 8 位 (チーム) まで
各種目 8 位 (チーム) まで
各種目 8 位 (チーム) まで

② パラサイクリング:

日本パラサイクリング連盟が認めた者

11 申込推薦

(1) 都道府県連盟および JPCA からの推薦

① 申込推薦基準に基づきすべての種目に競技者を推薦することができる。

(2) 学連、高体連、実業団、JPCA、日本パラサイクリング連盟からの推薦

① 申込推薦基準に基づき団体種目 (マディソン含む) に競技者を推薦することができる。

② 個人種目について都道府県連盟からの推薦を受けていない者について、2013 年大会については、申込推薦基準にかかわらず特に成績優秀と認める若干名を推薦することができる。

(3) 本連盟強化委員会からの推薦

① 本連盟強化方針に基づき個人各種目若干名と団体種目に競技者を推薦することができる。

推薦された中から本連盟が選考し出場者を決定する。

12 実施種目・標準人数

- (1) 男子エリート:
 - ① 1km タイム・トライアル (MEKT) 16 名
 - ② スプリント (MESP) 20 名
 - ③ 4km 個人パーシュート (MEIP) 10 名
 - ④ 40km ポイント・レース (MEPR) 24 名
 - ⑤ スクラッチ (MESH) 24 名
 - ⑥ ケイリン (MEKE) 24 名
 - ⑦ マディソン (MEMA) 12 組 (24 名)
 - ⑧ 4km チーム・パーシュート (METP) 8 チーム
 - ⑨ チーム・スプリント (METS) 8 チーム

団体種目については、申込推薦基準の大会に出場した競技者からその所属団体が編成する。

METP は 6 名、METS は 4 名まで申込むことができる。

- | | | | | |
|-------------|---|----------------|--------|-------|
| (2) 女子エリート: | ① | 500m タイム・トライアル | (FEKT) | 12 名 |
| | ② | スプリント | (FESP) | 10 名 |
| | ③ | 3km 個人パーシュート | (FEIP) | 10 名 |
| | ④ | 20km ポイント・レース | (FEPR) | 20 名 |
| | ⑤ | スクラッチ | (FESH) | 16 名 |
| | ⑥ | ケイリン | (FEKE) | 12 名 |
| | ⑦ | 4km チーム・パーシュート | (FETP) | 8 チーム |
| | ⑧ | チーム・スプリント | (FETS) | 8 チーム |

団体種目については、申込推薦基準の大会に出場した競技者からその所属団体が編成する。

FETP は 6 名、FETS は 3 名まで申込むことができる。

- | | | | |
|-----------------|---|----------------|-------------------------------|
| (3) パラサイクリング男子: | ① | 1km タイム・トライアル | (MB; MC5; MC4; MC3; MC2; MC1) |
| | ② | 4km 個人パーシュート | (MB; MC5; MC4) |
| | ③ | 3km 個人パーシュート | (MC3; MC2; MC1) |
| | ④ | フライング・ラップ | (MB) |
| (4) パラサイクリング女子: | ① | 500m タイム・トライアル | (FB; FC5; FC4; FC3; FC2; FC1) |
| | ② | 3km 個人パーシュート | (FB; FC5; FC4; FC3; FC2; FC1) |
| | ③ | フライング・ラップ | (FB) |

※ 各種目において参加競技者が一定数を満たさなかった場合は、中止することがある。

※ パラサイクリング種目において参加競技者が一定数を満たさなかった場合は、区分、スポーツ・クラス、性別グループを混合することがある。この場合、UCI 規則 16.1.005 を適用する。

13 競技規則 2013 年度版 (公財) 日本自転車競技連盟競技規則および大会特別規則による。

14 UCI ポイント他

(1) 国内選手権大会としての当大会には、UCI 個人ランキングのために、下記のポイントが与えられる。

男子・女子の個人種目参加競技者に対し、UCI 規則 3.3.010 に従い、上位 6 競技者に、30, 27, 24, 22, 20, 18 ポイント、7 位から 24 位の競技者に 3 ポイント。25 位以下の競技者に 1 ポイント。

マディソン、男子・女子チーム・パーシュート、男子・女子チーム・スプリントの参加競技者に対し、UCI 規則 3.3.010 に従い、6 位までの競技者 1 人に、15, 13.5, 12, 11, 10, 9 ポイント、7 位から 24 位の競技者に 1.5 ポイント。25 位以下の競技者に 0.5 ポイント。

(2) 各種目の 1 位競技者は、優先的に当シーズンの UCI トラック・ワールドカップ大会に参加する権利を得る。

15 表 彰

男女エリート: 第 1 位にチャンピオンジャージ、メダル、賞状、第 2、3 位にメダル、賞状を授与する。

参加者が 4 名未満の場合、表彰対象数は参加者数マイナス 1 とする。

16 参加申込

(1) 申込方法 加盟団体毎に所定の申込書に必要事項を記入し、郵送ならびに電子メールにて送信のこと。

団体種目については、高体連・学連・実業団登録チームからの申込みも受け付けるが、重複しないように注意すること。

(2) 申込先 〒170-0052 東京都港区赤坂 1-9-3 日本自転車会館 3 号館 3F

公益財団法人 日本自転車競技連盟 送付先メールアドレス: gyomu@jcf.or.jp

(3) 申込期限 2013 年 7 月 2 日 (火) までに JCF 事務局必着。

17 参加料 参加料は、参加が確定後に競技者 (パイロットを含む) 1 名につき、5,000 円を各団体がとりまとめ (公財) 日本自転車競技連盟に速やかに送金すること。

18 ドーピング検査について

(1) 本競技会は、日本ドーピング防止規程に基づくドーピング検査対象大会である。本大会参加者は、大会にエントリーした時点で日本ドーピング防止規程にしたがい、ドーピング検査を受けることに同意したものとみなす。

(2) また、未成年者である本大会参加者のエントリーにおいては、上記のドーピング検査の実施について親権者から同意を得たものとみなす。

(3) 本大会参加者は、本大会において行われるドーピング検査を拒否または回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、ドーピング防止規則違反となる可能性がある。ドーピング防止規則違反と判断された場合には、日本ドーピング防止規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。

(4) 日本ドーピング防止規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト (<http://www.playtruejapan.org>) にて確認すること。

19 その他

(1) 2013 年度有効の登録証を受付時に提出すること。

(2) ライセンス・コントロールは、すべて競技前日の夕刻に実施する。競技当日は、ライセンス・コントロールを実施しないので競技日程に注意すること。

(3) ライセンス・コントロール時に、競技用ジャージを提示して確認を受けること。

(4) パラサイクリングに参加する者は、すでに国際クラス分け認定済みの者を除き、クラス分けを受けること。

(5) 年間を通して傷害保険に加入すること。(スポーツ安全保険等)

(6) 健康保険証を持参すること。

(7) 大会中の疾病、負傷については、応急処置のほかは参加者の責任とする。

(8) 参加申込書に記載された個人情報、資格の確認及び大会に係る諸連絡を行うほか、氏名、生年月日、所属、競技成績、競技歴、写真などをポスター、プログラム、コミュニケ等で掲載する等、新聞社などマスコミ関係各社に情報を提供し、新聞等メディアに掲載される場合がある。

(9) 本大会における肖像権は JCF に帰属される。大会受付時に肖像権の同意書用紙を配布するので署名の上提出すること。

(10) タイム・テーブル、注意事項等はコミュニケとして必要に応じ随時 JCF ウェブサイトにて発表する。郵送での連絡は行なわないので、各自十分注意すること。

(11) 参加競技者は自己の責任において、自身がドーピング検査対象として指名されているか否かを確認すること。